

コミュニティふらっと本天沼の運営に関する地域懇談会 (第4回)

多世代交流の場所として必要な取組 説明資料

コミュニティふらっとの設置目的

(杉並区立コミュニティふらっと条例より)

第1条 子どもから高齢者までの全ての世代の交流及び活動の場を提供し、並びに多世代の交流に関する事業を実施することにより、身近な地域におけるコミュニティの形成に資するため、杉並区立コミュニティふらっと（以下「コミュニティふらっと」という。）を別表第1のとおり設置する。

⇒ 身近な地域におけるコミュニティを形成することが最終の目的

- ・ まずは多世代の参加・利用を促進し、(多世代の)交流に繋げる



- ・ 「地域課題を解決する場」としてのコミュニティふらっと

交流の考え方

- 異世代交流

高齢者と若者など異なる世代が交流すること

（例）高齢者が若者に昔遊びを教える

- 同世代交流

高齢者同士、若者同士など同じ世代が交流すること

（例）他の高齢者団体の活動を知る機会を作る

小学生と中学生の交流

(1) 既存のコミュニティふらっとの取組・運営

- 「ダーツ講座 ダーツで交流」 (成田)
 - 誰もが参加できる生涯スポーツ
 - 毎週月曜日の午後に開催
 - 小学生など子どもを含む家族連れから80代までの老若男女が参加
 - 他の参加者に「ナイスプレー」などの声掛けが発生する



○青空cafe（馬橋）

- 「青空cafe」スペースを設置。

高齢者団体の協力によりコーヒー等を提供していただき、子育て世代の方とのコミュニケーションの形成につながっている。

○昔の遊び、射的、大道芸体験（東原）

- 地域団体、高齢者団体、学童クラブの協力のもと、わなげやけん玉、だるま落としなど昔の遊びができるコーナーを設置。子どもだけでなく大人が楽しんでいる姿も見られた。



わなげ



皿回し

○コミュニティふらっと方南オープン祭り（方南）

- ・ 集会室で、輪投げとダーツを実施
ボランティアとして参加した地元の中学生が、年配の参加者にエールを送る様子が見られた。
- ・ 子連れのファミリー層も多く見られた。



輪投げ



ダーツ

来場者アンケートより抜粋

- 多世代の人がお客さん、出演者として集まっているのを見て、「コミュニティーふらっと」とはこういうものなのか、と説明を読むよりよくわかりました。
- 2F 輪投げ、ダーツの中学生は終日頑張っていました。隣にいて、そのパワーにびっくりでした。
- ありがとうございます。浜田山からきました。
84歳ダーツ3点でした、むずかしい。
- 地域の中で区民の方々が良い経験・体験ができるよう街の中心になってほしいです。

○コミュニティふらっと成田文化祭（成田）

- 様々な団体が同じ施設を使っていることを知るのが、「多世代交流の第一歩」というコンセプトで開催
- ラウンジで高齢者団体の活動紹介のパネル展示
- ステージ出演をコミュニティふらっと成田の利用者に限らず、近隣のゆうゆう館やプロの音楽家まで拡大し、他地域との交流を図った。
- 他の団体の活動に興味を持った高齢者が、体験や新規の参加をする例が、10件ほどあった。

○近隣施設との連携

- ・近隣の小・中学校の学生ボランティア（馬橋・阿佐谷・方南）
- ・併設の保育園との連携（永福）
⇒保育園から要望を受け、乳幼児親子向けのイベントを週末や休日にも開催、保護者同士が知り合うきっかけになった。

○和泉をつなぐボランティア団体ROPE（永福）

- ・和泉地域中・高校生委員会のOBである大学生6名により設立されたボランティア団体。「多世代とつながりを通して、地域の新たな可能性を見出す」が活動理念
- ・多世代交流イベント開催時に卓球体験やボードゲームを出展し、様々な世代が参加した。